

平成 25 年 12 月期 通期 個人投資家様向けライブ決算説明会

2月6日(木)に開催した、平成25年12月期 通期 個人投資家様向けライブ決算説明会において、配信中にお答えできなかった質問をまとめたものです。グループ広報・IR部より、各担当セクションに確認の上、回答させていただきます。

Q.1

今期業績予想の、当期純利益伸び率が4.9%というのは、一見すると成長鈍化に見えるのですが、どのようにお考えですか？

A.1

2014年12月期の予想について、営業利益(前期比13.6%増)、経常利益(14.2%増)の伸びと比べて、当期純利益の伸びが4.9%増と小さくなっていることをご指摘かと思いますが、結論、成長鈍化とは考えておりません。当期純利益の伸びが相対的に小さく見える理由は、税効果会計の影響によるものです。これは、一時的に軽くなっていた税負担が、通常の水準に戻ることに由来するものです。また、前提として、業績予想全般に保守的な予想をお出ししていることをご理解いただければと思います。

Q.2

「.shop」を獲得できた場合、カート等を格安でセット販売するという話がありましたが、今もそのような計画でしょうか？また、黒字化は時間がかかりますか？

A.2

「.shop」というドメインを起点として、カート、決済、SSLなどナチュラルアップセルを行なっていくというのが基本戦略です。「格安でセット販売」というのは、その際のオプションの一つとしてありうると考えています。黒字化については、「.shop」のオークション費用が見通せない状況ではありますが、ドメインを起点としたナチュラルアップセルにより、ストック収益を積み上げることによって、早期に収益化を図ってまいります。

Q.3

「.shop」の獲得は、GMOの国際展開の中心になるものと思いますが、もし、獲得できない場合の国際展開想定はされていますでしょうか？

A.3

国際展開は当社グループにとって対処すべき課題の一つです。すでに、WEBインフラ事業(決済事業など)、インターネット証券事業、スマートフォンゲーム事業にて国際展開を果たしています。「.shop」は、国際展開の中心になりうるオプションですが、仮に獲得できない場合にも、各種施策を準備・進行させておりますのでご期待ください。

Q.4

新しくなった外為オプションの影響はどうでしょうか？

A.4

昨年11月中旬から新サービスに移行している外為オプションですが、参加者数が従来とほぼ変わらない規模で推移するなど、影響は想定していたより限定的という印象です。

Q.5

ゲーム事業を黒字にできる根拠はありますか？

A.5

たしかに、足元黒字化が遅れている段階ではありますが、ゲーム事業を2ケタ億の利益貢献するような「第4の事業の柱」に育てるべく、強い生命力でやり切るというのが今期の方針です。プロモーションも積極化しており、足元では集客のため、「スマサカ」のTVCMを行い、DAUが4倍になるなど想定通りの成果を得ております。今後は、マネタイズを進めてまいります。また、今後は「流線系エンカウンター」などフルネイティブアプリのプロモーションも予定しております。ご期待ください。

Q.6

自己資本比率の改善をすべきでは？自己資本比率が50以下だとちょっと大丈夫かなという不安要素があります

A.6

たしかに、2013年12月期末の自己資本比率は5.8%であり、また前年同期比で1.8ポイント低下しており、ご心配いただいているかもしれません。しかしながら、当社グループの自己資本比率が上記の水準となっているのは、ネット証券事業を行なっていることから、見かけ上自己資本比率が低く見えているに過ぎず、実質的な財務体質に不安はございません（証券事業ではお客様のポジションが資産・負債両サイドに計上されるため、B/Sのサイズが大きくなり、結果として自己資本比率を押し下げる要因となります）。2013年12月期の数字が低下しておりますのも、証券・外国為替証拠金市況が活況であったことにより、お客様がポジションを積み増したことによるものです。今後は事業活動を通じて自己資本を積み上げることで、財務の健全性を向上させていきたいと考えております。

Q.7

他社への競争上、難しいと思いますが証券やホスティングは月次報告みたいな形で発表して頂くと、投資する側とすると安心して投資ができるので是非検討して頂きたい

A.7

貴重なご意見ありがとうございます。今後も、タイムリーかつ適切な投資情報の公開に努めてまいります。

Q.8

株主優待の変更について

A.8

株主優待制度につきましては、株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするとともに、当社のサービスを多くの株主さまにご理解いただくことなどを目的として実施しております。優待対象サービスについては、利用状況なども鑑み、その見直しを随時行っており、今般の変更もその一環でございます。株主還元につきましては、配当性向の目標を33%とさせて

いただくことで、持続的な成長と株主還元を継続して参りますので、引き続きご支援いただければと存じます。

Q.9

以前、この場でも紹介されていた素敵な社員食堂。1日利用権を販売、または株主優待として出していただけませんか？

A.9

現在のところ公開の予定はございません。当社グループのスタッフ、ならびにスタッフがご案内させていただくお取引先さまやお客さまを中心にご利用頂いております。

以 上